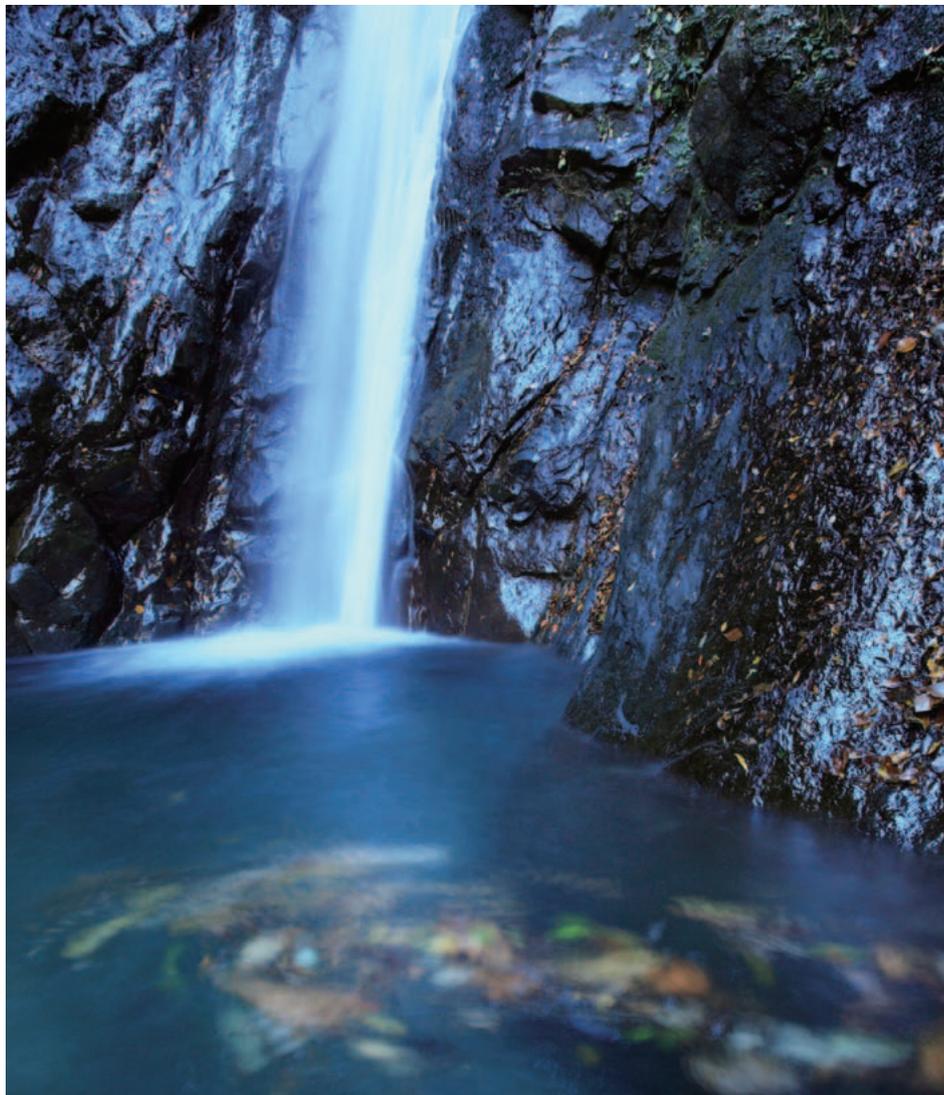


かんきょう四季

平成31年度(令和元年度)版

第35号 2020年6月



相模原の環境をよくする会

ごあいさつ

相模原の環境をよくする会
会長 瀬戸真司
峡の原工業団地協同組合 理事長
株式会社YSR 代表取締役



初夏の候、各会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年5月より山口から峡の原工業団地協同組合の理事長を引継ぎ、あわせて当「相模原の環境をよくする会」の会長を引き継がせていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響も大きい最中ではございますが、皆様のご協力の下、相模原の環境の維持向上に少しでも貢献できますよう微力ながら尽力してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、当会は昭和60年に発足してから35年と長期にわたり活動を行ってまいりました。その前身は、昭和43年に市内の工場が河川を汚濁から守ろうと立ち上げた「相模原の河川をきれいにする会」と、昭和53年に同じく大気環境の保全に努めることを目的に設立された「相模原の青空を守る会」でございます。「昭和」に結成され、「平成」で発展を遂げた当会でございますが、「令和」にはこれまでの実績と伝統を受け継ぎつつ、新たな時代のニーズに応えながら、今後ますますの発展に努めてまいりたいと思っております。

昨年、「相模原市環境基本計画2010－2019」の期間が終了を迎え、相模原市は、本市を取り巻く社会情勢や環境の変化、環境に対する新たな課題やニーズ等へ対応するため、本年3月に「第3次相模原市環境基本計画」を策定いたしました。当会としましても、この計画が目指す「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」の実現のために課題解決に取り組んでまいり所存です。

さて、本年度も「自然観察ウォッチング」、「河川生物相調査」等の実施並びに広報誌の発行など様々な事業が計画されております。また、他の環境保全関連の活動や審議会などへの参加を通して、環境維持向上の役に立つことができるよう願っております。

皆様におかれましても、会の目的である「公害を未然に防止し、豊かな自然を守り、うるおいのある生活環境づくりに努め、もって快適な環境の創造に寄与すること」の実現に向け、引き続き力強いご協力をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

目 次

■ 相模原の環境をよくする会 活動概要	1
地球のために わたしたちが今、できること。	
■ 平成 31 年度 (令和元年度) 活動報告	
全体活動	3
市民向け体験事業	5
調査事業	9
会員向け啓発事業	10
広報事業	11
その他の運営・活動記録	12
■ 事業の調査結果	
河川生物相調査結果報告書	13
・名 簿	
・相模原の環境をよくする会会則	
・相模原の環境をよくする会細則	
・表彰に関する規定	
・入会申込書・退会届・変更届 様式	



地球のために わたしたちが 今、できること。

相模原の環境をよくする会は、相模原市内の工場・事業所など、100余りの企業・団体等が集まり、
公害の未然防止と、豊かな自然を守り、
快適な環境をつくるための活動をつづけている団体です。



撮影：写真家 高橋ざいち氏

■ 事業活動に活かせる環境情報を提供しています

- 会員同士の相互理解や環境に関する知識・情報を深めるため、機関紙「かんきょう四季かわら版」や会ホームページで、会員紹介や環境に関する法・条例の改正などの情報提供を行っています。
- 会員の要望に基づいたテーマでの環境セミナーや環境保全・公害防止について先進的な取り組みを進めている事業所の視察など、会員の事業活動に役立つ活動を進めています。

■ 市民のみなさまと共に相模原の環境を見つめ直しています

<主な啓発事業>

- 自然観察ウォッチング
(自然観察会)
- 夏休み環境教室
- 市民まつりにおける
「かんきょうフェア」
- さがみはら環境まつりへの参加
- 各種キャンペーン

<調査・研究事業>

- 市内6河川9地点における河川生物相調査
- 先進事例等視察
- 環境セミナー

会ホームページをぜひご覧ください

<http://www.yokusurukai.jp>

当会の活動を広く紹介し、タイムリーな情報をお知らせするホームページを運営しています。

相模原の環境をよくする会 活んだ水あふれる緑豊かな みんなで築こう相模原

相模原の環境をよくするために...

市内の工場・事業所等によって組織された環境保全団体です。豊かな自然を守り、うるおいのある生活環境をつくるため、さまざまな活動を行っています。

Introduction	Project	Member	Enterprise	Contact
会の概要・経緯 入会案内 会報 機関紙	年間事業紹介 市民向け事業 会員向け事業 その他の活動 調査活動	会員企業一覧 株式会社紹介	市の条例・告示 行政・法令の動向	お問い合わせ

… Topics

- 野鳥観察会を併立相模原公園で開催します。
- 自然観察会と写真教室を市麻溝公園と泉相模原公園で開催します。
- 夏休み環境教室を菅野原オートキャンプ場で開催します。

最終更新日：2024.1.15.

■ 相模原の環境をよくする会
相模原市中央区中央2-11-15 相模原市役所 環境政策課
TEL 042-769-8240(直通)

会の運営・活動日程

1/26	野鳥観察会
11/30	自然観察会と写真教室
7/27	夏休み環境教室

お問い合わせ

平成31年度(令和元年度)活動報告

全体活動

■平成31年度通常総会

平成31年4月23日(火)、相模原市立環境情報センターにて、相模原市樋口環境共生部長の御臨席のもと、平成31年度通常総会が開催されました。日本板硝子(株)の丸山氏の司会進行のもと、(株)オハラの川口氏による開会宣言、日本板硝子(株)の本田会長の挨拶、来賓紹介へと続き、議事へ移行しました。

委任状を含めた、84会員の出席のもと、三菱電機(株)の渡部氏が議長を務め、平成30年度の「事業報告」及び「収支決算報告」について(株)トッパンパッケージプロダクツの古田氏による監査報告が行われ、承認されました。

また、役員の変更については、役員会案が承認され、新会長となる峡の原工業団地協同組合の山口氏から挨拶がありました。

最後に、平成31年度の「事業計画」及び「収支予算」が承認され、司会の丸山氏の挨拶のもと閉会しました。



開催日：平成31年4月23日(火) 会場：相模原市立環境情報センター 出席者：84会員(委任状込)

■第15回 さがみはら環境まつり

令和元年6月30日(日)、ミウイ橋本で「第15回さがみはら環境まつり」が開催されました。当日の天気はあいにくの曇りでしたが、スポーツキャスターの萩原次晴さんを招いた環境シンポジウムをはじめ、環境クイズ大会、クワガタ忍者さんの環境ショー、市内小学校の環境活動「風っ子ISO」の児童の皆さんによる発表、環境団体による活動紹介など、たくさんの催しが開催され、会場は大盛況でした。

当会からは役員7名、事務局1名が参加し、東京ガス(株)様の協力によるガス配管の再生ペレットを「蝶や車や星等」の型に入れてアイロンにて溶着させる、アイロン工作を実施しました。当会のブースには子ども達がたくさん集まり、昼食をとる暇がないほどの大賑わいでした。また、ブースに来られた方にエコバッグの配布も行い、子どもから大人まで幅広い皆さんに環境について関心を持っていただけました。



今回初めて環境まつりに参加しましたが、来場者が多いことに驚かされました。相模原市民の環境意識の高さを改めて実感しました。このお祭りが子ども達にとって環境について学ぶきっかけになったかと思います。そして、大人たちは子ども達のため、環境問題に取り組みなければならないことを再認識できたのではないかと思います。

(プライムデリカ(株) 片田)

開催日：令和元年6月30日(日) 会場：ミウイ橋本インナーガーデン、杜のホールはしもと多目的室等
来場者：約3,000人
参加役員：三菱電機(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、大和製罐(株)、プライムデリカ(株)、日産自動車(株)、日本板硝子(株)

■ かんきょうフェア2019

令和元年5月11日(土)・12日(日)に「第46回相模原市民若葉祭り」が開催されました。当会では、相模原市立環境情報センターにて、「かんきょうフェア2019」を開催し、役員38名、会員2名、事務局10名の体制で市民の皆さんに環境保全の大切さをアピールしました。

各企業の出展ブースにクイズがあり、クイズラリーに回答いただきながら、市民の方々に環境保全意識を高めてもらい、回答いただいた方々には、会員企業提供の豪華グッズ入りエコバッグを記念品としてお渡ししました。

毎年恒例である東京ガス様様のガス管廃材をリサイクルしたアイロンビーズの工作や、(株)ニコン様の顕微鏡による昆虫・生物の観察などは、子ども達に大人気でした。野外のブースでは、日産自動車様の電気自動車の展示や、さがみはら地球温暖化対策協議会のマスコットによるPRも行われました。

私も初めて参加させて頂きましたが、環境の大切さを更に感じる事ができました。また、相模原市のたくさんの方々にも、環境に関心を持って頂くよい機会になったと思います。

(日産自動車(株) 高橋)



開催日：令和元年5月11日(土)・12日(日) 会場：相模原市立環境情報センター 来場者：約1,000人
参加役員・会員：峡の原工業団地協同組合、三菱電機(株)、(株)ニコン、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、
大和製罐(株)、(一財)生物科学安全研究所、昭和電線ケーブルシステム(株)、スリーエムジャパン(株)、
(株)トッパンパッケージプロダクツ、日産自動車(株)、日本板硝子(株)、(株)リガルジョイント

市民向け体験事業

■ 夏休み環境教室

令和元年7月28日(日)、台風一過の青野原オートキャンプ場にて、市民31名(うち子ども15名)と役員・事務局等27名の総勢58名で「夏休み環境教室」が開催されました。前日の夜までの雨により、河川は増水していましたが、強い日差しと心地よい風に恵まれ、絶好のキャンプ日和となりました。

開催のあいさつが終わるとみんなでマスのつかみ取りが始まります。子ども達は最初は怖がっていましたが、徐々に水中のマスにつかみかかるようになりました。始まってみると親達も「あっちにいるぞ!」と夢中になって叫んでいたり、家族そろってつかみ取りに夢中になっていました。

次は水生生物の観察をしました。水が冷たくて気持ちよく、また、様々な生き物を見つけることができました。観察の次は勉強タイムで、アメンボをテーマにした先生の説明を熱心に聞いていました。

そしていよいよお楽しみの昼食タイムです。お弁当と鮎の塩焼きが配られました。鮎は、2時間かけて炭火でじっくり骨まで柔らかく焼いてあり、頭からしっぽまで全部食べた子ども達は、「全部食べたよ」と嬉しそうに自慢していました。

午後は竹細工で、小刀を使った竹とんぼやお箸、昆虫作りにチャレンジしました。そこでは童心に帰った親達が積極的に小刀を使って子ども達の為に竹細工を頑張っている姿が多く見受けられました。

また、指導員の方々も子ども達に教えながら嬉しそうに交流を楽しんでいました。子ども達は、初めての竹とんぼでしたが、慣れるに従い上手に飛ばせるようになりました。

竹とんぼで小腹がすいてきた頃につかみ取りしたマスが焼け、子ども達もどんどん食べていきました。

帰りのバスでは、遊び疲れてぐっすり寝ている人やつかみ取りの自慢をしている子、「またキャンプに行きたいね」と話している親子など、いろいろな声が聞こえてきましたが、みんな環境教室で大満足の様子です。終点に到着しバスを降りるときに、子ども達は竹細工をもって、嬉しそうに「ありがとうございました」と言って帰っていきました。もちろん我々も自然や子供たちとの交流に自然と笑顔になっていました。

(昭和電線ケーブルシステム(株) 落合)



実施日：令和元年7月28日(日)

会場：青野原オートキャンプ場

講師：中道志川トラスト協会 他 参加者数：31人

参加役員：東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、(一財)生物科学安全研究所、昭和電線ケーブルシステム(株)、日産自動車(株)

■ 自然観察ウォッチング「絶滅危惧種カワラノギクの観察と相模川ふれあい科学館見学ツアー」

令和元年11月16日(土)、「絶滅危惧種カワラノギクの観察と相模川ふれあい科学館見学ツアー」が開催されました。参加者13名、役員・会員4名、事務局2名に加え光明学園OB・OG4名、明治大学 倉本先生が合流し総勢24名のツアーとなりました。

集合場所の市民会館よりバスに乗り込み、さあ出発です。まずは光明学園相模原高等学校に移動しました。そこでカワラノギクの保全活動をされている理科研究部の先生と生徒さんからカワラノギクの生態や活動内容について分かりやすく説明をしてもらいました。その後、保全活動の場である河原へと移動し実際に咲いているカワラノギクを観ながら、保全の難しさ、大変さについてお話を聞くことが出来ました。

お昼を挟んで、相模川ふれあい科学館に向かいました。科学館では副館長に案内していただき、普段は見ることの出来ないバックヤードも見学することが出来ました。バックヤードでは飼育中の珍しい魚達とも出会え、また、餌やり体験もすることが出来ました。館内の展示も工夫がなされており、参加された市民のみなさんは楽しい一日を過ごされました。

(青山学院大学 佐久間)



実施日：令和元年11月16日(土)

会場：光明学園相模原高等学校、相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら 他

講師：光明学園相模原高等学校理科研究部、相模川ふれあい科学館

参加者数：13人

参加役員・会員：(一財)生物科学安全研究所、日産自動車(株)、青山学院大学、大和ハウス工業(株)

■ 自然観察ウォッチング「身近な植物の観察とプロに学ぶ写真教室」

令和元年12月7日(土)、相模原麻溝公園にて自然観察ウォッチング「身近な植物の観察とプロに学ぶ写真教室」を開催しました。

気温は4度、小雨も降る寒空であったにもかかわらず、今年は市民6名、役員8名、事務局2名の全16名が集まりました。

当日は、相模原市在住の写真家の高橋ぎいち先生を講師にお招きし、まずは「撮るものを見つける力」、「カメラについて知る」、「接写ってなーに」などの項目に分けて、写真を撮ることにおいて必要な知識のご説明をいただきました。

その後、実技講習ということで、外へ出て公園内で各自が思いのまま「感動」を感じる植物や風景などを自由に撮影し、先生や役員からのアドバイスをもとに、楽しい雰囲気の中で工夫をしながら写真の撮影に取り組まれていました。

撮影後は、室内に戻り、先生から参加者一人ひとりの写真のご講評をいただきましたが、指導の成果が顕著に表れており、皆さんが「感動」した主体が明確に伝わる素晴らしい写真が多数見られました。特に今回は雨上りということで、滴のついた花卉を接写で撮影されている方が多かったのが印象的でした。この取り組みにより、写真への興味から自然への関心につながり、さらに環境をよくしていこうという気持ちを持っていただけたのではないかと思います。

(東京電力パワーグリッド(株) 竹内)



実施日：令和元年12月7日(土) 会場：相模原麻溝公園
講師：写真家 高橋ぎいち氏 参加者：6人
参加役員・会員：三菱電機(株)、(株)ニコン、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、(一財)生物科学安全研究所、
昭和電線ケーブルシステム(株)、日産自動車(株)、大和ハウス工業(株)

■ 自然観察ウォッチング「野鳥観察会」

令和2年2月8日(土)、野鳥観察の基礎講習会並びに県立相模原公園及び相模原沈殿池での野鳥観察会を開催しました。一般市民の参加者32名に対し、講師として麻布大学野鳥研究部の学生9名と相模原の環境をよくする会から役員・会員7名、事務局3名が参加し、全51名で実施しました。

スタート地点の市民健康文化センターにて麻布大学野鳥研究部の学生より、野鳥観察の基礎知識、バードウォッチングの楽しみ方や双眼鏡の使い方、今回見られるかもしれない鳥たちの特徴などについて教えていただきました。

当日は天候にも恵まれ日差しの暖かさを感じられる日和で、4班に分かれて、参加者の皆さんもどんな野鳥と出会えるかと期待を抱きながら、県立相模原公園へ出発しました。

林道を歩きながら麻布大学野鳥研究部のガイドのもと、野鳥のさえずりに耳を澄まし、姿を見ては双眼鏡で観察を行いました。相模原沈殿池では、フィールドスコープを設置し、覗いて見ると、向こう岸で水鳥たちが水面を泳いだり、休んでいる様子がはっきり観察でき、和やかな雰囲気を感じることができました。近年、沈殿池内の浮きの数が減り、水鳥の数も減ってきているそうですが、この日は羽を休ませ休憩していたのかもしれないかもしれません。

会議室に戻り、最後に班ごとに観察できた野鳥のまとめを行い、4班とも24種類以上の野鳥が確認されたとのことで、参加者の皆さんも大変満足された笑顔が印象的でした。

山と緑と水などの自然環境を守り、野鳥たちも住みよい相模原市であるよう今後とも「ワンチーム相模原」で自然を大切にしていきたいと思います。

(東京ガス(株) 大河内)



実施日：令和2年2月8日(土) 会場：県立相模原公園、相模原沈殿池 他 参加者：32人
参加役員・会員：(株)ニコン、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、KYB(株)、(一財)生物科学安全研究所、日産自動車(株)、大和ハウス工業(株)

調査事業

■ 河川生物相調査 5月

令和元年5月28日(火)、今年度第1回目の河川生物相調査を役員5名と事務局5名の計10名で実施しました。

この事業は年2回、春(5月)と秋(10月)に毎回同じ場所を調査することで河川の状況変化や生息する生物の種類・個体数を確認し水質階級を評価する事で環境変化を捉える事を目的とした活動になります。

調査は、境川4地点、姥川、八瀬川、鳩川、相模川、道保川の計9地点を3班にわかれ行いました。当初5月21日(火)の調査予定が、荒天による水量増加、安全リスクから5月28日(火)に延期となりましたが、当日は気温25℃前後と過ごし易い陽気となり絶好の調査日和となりました。

長靴で河川へ入り、ザルや網を使って生物を探していると知らぬ間に夢中になり時間を忘れそうになります。カゲロウ・ヤゴ・カワニナ・ヨコエビなどが多数確認できました。

水質階級では、9地点中6地点が「OS(きれいな所)」でしたが、3地点でやや低下が見られ、全体傾向として、前回より若干悪化していると思われます。

今回の参加で顕微鏡でないと確認できない生物も学ぶことが出来、勉強になりました。

今後も今年度の環境スローガンでもある「一人ひとりの気づかいでいつもきれいな相模の水辺」を意識し、大切な自然を守っていかねばいけないと感じた1日でした。

(KYB(株) 西山)



実施日：令和元年5月28日(火) 場所：市内6河川9地点
参加役員：三菱電機(株)、(株)ニコン、東京電力パワーグリッド(株)、KYB(株)、日産自動車(株)

河川生物相調査 10月

令和元年10月8日(火)、役員9名、事務局4名の計13名が参加し、境川4地点、姥川、八瀬川、鳩川、相模川、道保川の計9地点で調査をしました。

この調査は年2回、春と秋に河川に生息する生物の種類と数から河川の汚濁状況を評価するため実施しています。

前日の夜に雨が降りましたが、当日は良い天気になり、気温25℃前後のちょうどよい日和の中、調査が行われました。

水中に住む、カゲロウやトビケラの幼虫などを探すが、それら以外にも小魚、川エビ、サワガニ等も見られ、子どもの頃の川遊びが思い出される非常に楽しいひと時でした。

結果は9地点中、5地点で最高の評価である「OS(きれいな所)」、一番悪い評価でも「βm(ややきれいな所)」が1地点であり、全体的にはきれいな状態が保たれていることがわかりました。

境川に着目すると、4地点の結果は上流から二番目の二国橋を除き「OS(きれいな所)」、となっており、上流の方がきれいというイメージとは異なる興味深いものとなりました。

子ども達に川で遊べる環境を残すために、自然を守る活動を続けていきたいとあらためて思いました。

(日本板硝子(株) 丸山)



実施日：令和元年10月8日(火) 場所：市内6河川9地点
参加役員：三菱電機(株)、三菱重工業(株)、東京電力パワーグリッド(株)、(株)ニコン、(一財)生物科学安全研究所、プライムデリカ(株)、(株)トッパンパッケージプロダクツ、日産自動車(株)、日本板硝子(株)

会員向け啓発事業

令和元年度 先進事例等視察

令和元年10月24日(木)、14社17名と事務局2名を含めた総勢19名の参加にて、「海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部」と「日産自動車(株)追浜工場」の2カ所を視察しました。

JAMSTECは、無人探査機や潜水調査船などを使った海底の調査等、海と地球の研究を国内6拠点で行っており、その中でも横須賀本部を見学しました。

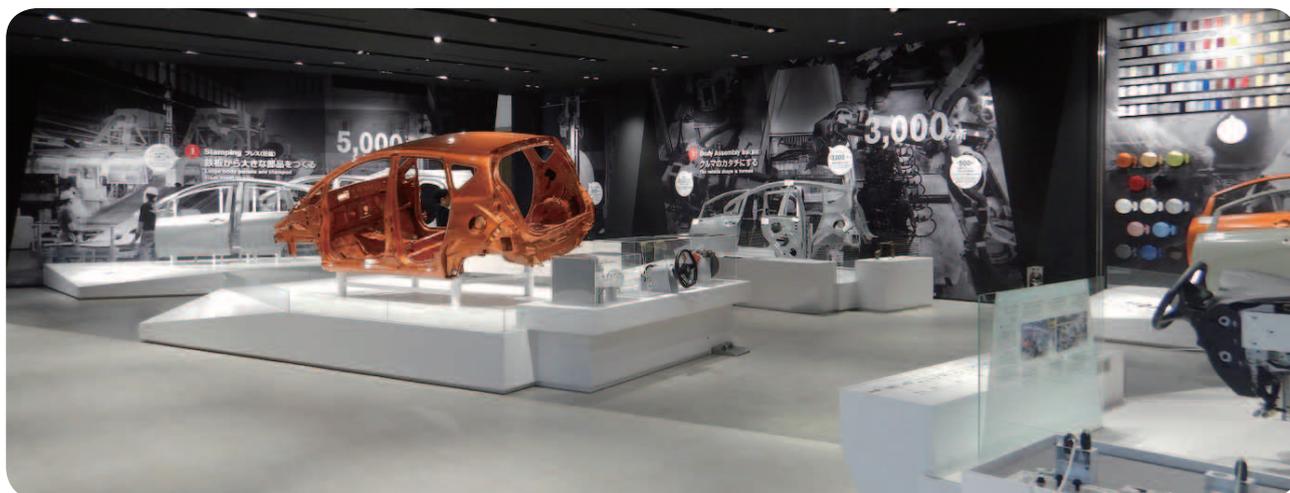
当日は、有人潜水調査船「しんかい6500」も帰艦しており、実物大模型に乗ってみましたが、極狭の船内に3人で、最大8時間の作業と聞き、私には耐えられないと感じました。

水圧実験では、カップ麺のカップを使用しました。水圧をかけるごとに小さくなり、半分になったとき水圧を開放しても組織が壊れ元に戻らないという実験も見学し、水圧の凄さを感じました。

日産自動車(株)では、生産ラインを含め、バンパーリサイクル工場や排水処理場も見学しました。バンパーリサイクル工場では、プラ系のバンパーは細断しチップにして再利用しており、排水処理場では汚れた水をきれいにし、再生した水でメダカや金魚を水槽で飼育することで、きれいな水であることを証明していました。

工場外壁の一部には緑のカーテンがあり、そのほか、駅周辺の清掃活動など会社全体での環境への取組みを聞くこともでき、次世代に住みよい環境を残すための意識の高さを感じられました。

(三菱重工(株) 金子)



実施日：令和元年10月24日(木)

視察先：海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部、日産自動車(株)追浜工場

参加者：会員17人

広報事業

■ 機関紙「かんきょう四季 かわら版」の発行

「かんきょう四季かわら版」は、毎年1～2回作成しており、令和元年度は、令和元年8月に第71号を発行し、会員及び関係機関等に配布しました。事業報告として、「夏休み環境教室」・「河川生物相調査」・「平成31年度通常総会」・「かんきょうフェア2019」・「第15回さがみはら環境まつり」を紹介しました。

そして、第72号を令和元年12月に発行し、事業報告として「身近な植物の観察とプロに学ぶ写真教室」・「河川生物相調査」・「日産自動車(株)「地域感謝デー」への出展」・「先進事例等視察」・「絶滅危惧種カワラノギクの観察と相模川ふれあい科学館見学ツアー」を紹介しました。



発行月：令和元年8月（第71号） 令和元年12月（第72号）

発行部数：各300部 配布先：会員・関係機関等

■ 会報「かんきょう四季」の発行

会報「かんきょう四季」は、会員、県内水質保全団体、県、市、その他多くの方々に、会の活動状況を広く知っていただくために毎年発行しています。平成31年4月発行の第34号では各事業の活動報告の他、過年度からの継続実施を行っている河川生物相調査報告等を掲載しています。今後も役立つ情報の発信を進めてまいります。

また、会報発行にあたり、御執筆いただきました皆様に、本紙面をお借りし厚くお礼申し上げます。

発行月：平成31年4月 発行部数：350部 配布先：会員・関係機関等



本会では「相模原の環境をよくする会」のホームページにより、実施した事業などを紹介しておりますので、是非、会員並びに関係機関の皆様には、ホームページもご覧下さいます様お願いいたします。

「相模原の環境をよくする会 HP <http://www.yokusurukai.jp/>」

その他の運営・活動記録

1 通常総会

平成31年度通常総会

開催日：4月23日(火)

会場：相模原市立環境情報センター 学習室

- 議 事：1. 平成30年度事業報告について
2. 平成30年度収支決算報告について
3. 役員改選について
4. 平成31年度事業計画（案）について
5. 平成31年度収支予算（案）について

出席者：84会員（委任状含む）

2 役員会の開催

(1) 第1回役員会

開催日：4月15日(月)

会場：市役所会議室棟1階 第1会議室

- 議 題：1. 平成30年度事業報告及び収支決算について
2. 平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
3. 平成31年度通常総会について
4. 平成31・32年度役員について

(2) 第2回役員会

開催日：9月10日(火)

会場：市役所会議室棟2階 第3会議室

- 議 題：1. 令和元年度上半期事業報告及び下半期事業予定について
2. 令和元年度会費納入状況について
3. 文書の廃棄について

(3) 第3回役員会

開催日：3月4日(水) ※書面会議

- 議 題：1. 令和元年度事業報告について
2. 令和2年度事業計画（案）について
3. 令和2年度感謝状贈呈対象者（案）について
4. 令和2年度通常総会について

河川生物相調査結果報告書

結果報告者



三菱電機株式会社 渡部 一浩
 株式会社トッパンパッカーゾウダック 古田 秀昭
 日本板硝子株式会社 丸山 英努

1. はじめに

本調査は、当会の前団体である「河川をきれいにする協議会」の会員の中から調査部員が募られ、昭和51年から開始したものである。当初、境川5地点で始まった本調査は、その後、調査員の交替、調査地点の変更等を経て、44年目を迎えた現在、市内6河川9地点で春と秋の年2回実施している。

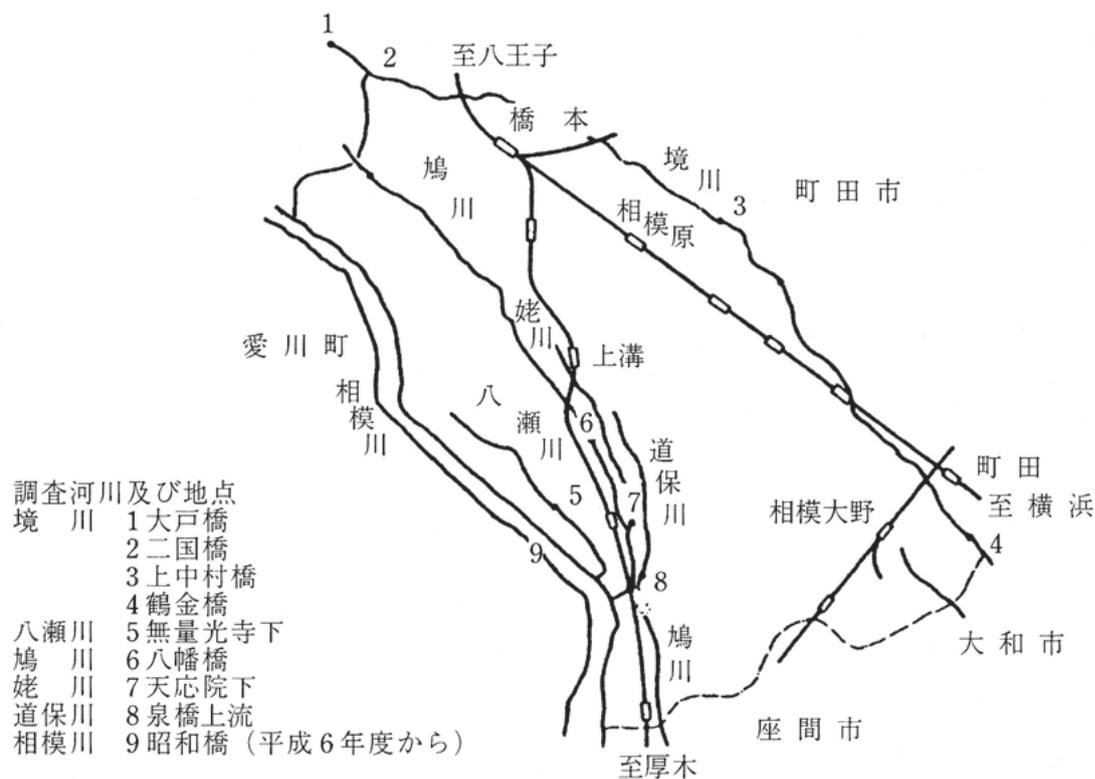
令和元年度は、5月28日と10月8日に調査を実施した。以下、調査結果を報告する。

2. 生物相調査の実施

河川の水質調査の方法としては、BOD、CODなどの理化学的調査の他に、汚濁の進行に応じて水生生物の生息範囲が限られてくることを利用した生物学的な水質調査がある。

この方法は、比較的簡易な方法であること、市民の方々にも親しみが持ちやすい等の利点があり、本会としても河川浄化啓発活動の一環として取り入れてきた。

3. 調査河川と調査結果



境川水系

調査地点	①大戸橋		②二国橋		③上中村橋		④鶴金橋	
	5/28	10/8	5/28	10/8	5/28	10/8	5/28	10/8
気 温 ℃	23	23	24	22	23	24	28	24
水 温 ℃	18	15	19	17	21	18	21	17
pH 試験紙	8.0	5.0	8.0	6.0	7.0	6.0	7.0	6.0
に ご り	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
臭 気	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
水 深 cm	10	15	20	25	50	30	25	15
川 幅 m	2	1.5	3	3	2.5	3	7	10
河 床	こぶし大の石・小石と砂	小石と砂・砂と泥	頭大の石・こぶし大の石	頭大の石・こぶし大の石	頭大の石・こぶし大の石	頭大の石・こぶし大の石	こぶし大の石	小石と砂利
流速 sec / 5m	20	13	48	25	12	18	13	15.5

大戸橋（境川）

大戸橋は、南高尾山稜の東側の草戸山を源流とする境川の最上流に位置しており、周囲を森林に囲まれた小川に掛かる小さな橋である。

5月の調査では優占種はヤゴで、その他カゲロウ、トビケラ、カワニナ、サワガニ、ゲンゴロウの6種類の指標生物に加え、モロコ（魚）、ヤゴ、カワエビ、アメンボ等が確認された。

10月の調査では優占種はカワニナで、その他サワガニ、ヤゴ、カゲロウ、カワゲラの5種類の指標生物に加えエビ、メダカ（魚）等が確認された。

水質階級は5月・10月の調査とも前年と変わらずOSであり、「きれいな所」が維持されている。

二国橋（境川）

二国橋は、大戸橋からやや下流に位置し、緑区相原と町田市に架かり、町田街道の相原十字路交差点近くにある約10m程の橋である。川は相模原市と町田市の境を蛇行して流れ、周囲は住宅街に囲まれている。

5月の調査では優占種はヤゴであり、その他カゲロウ、ヒル、トビケラの4種類の指標生物に加え、カワエビ、アメンボ等が確認された。

10月の調査では優占種はヤゴで、その他アメリカザリガニ、ヒル、サワガニ、カゲロウ、トビケラの6種類の指標生物に加えカワエビ、ハゼ（魚）、メダカ（魚）等が確認された。

前年度10月調査ではβm-a mであったが今回は5月・10月共にOS-βmで改善傾向が見られた。

上中村橋（境川）

上中村橋は、神奈川県と東京都の境界近くに位置し、周辺には宮下工業団地や米軍相模補給廠などがある。

5月の調査では優占種はカゲロウであり、その他イトミミズ、ヤゴの3種類の指標生物に加えアメンボなどが確認された。

10月の調査では優占種はカゲロウであり、その他プラナリア、アメリカザリガニ、ヤゴの4種類の指標生物に加えエビ等が確認された。

前年度10月調査ではOS-a mであったが、今回は5月・10月共にOSで改善傾向が見られた。

鶴金橋（境川）

相模原市内を流れる境川の最下流付近に位置する鶴金橋は、周囲に民家が密集している。

河川の状況は護岸及び川床ともにコンクリートで覆われており、いかにも街中の川といった場所である。

5月の調査では、採取できた生物は4種類で、優占種はヤゴであった。これは昨年度と比べると種類も少なく、優占種も異なっているが、調査日程を1週延期するほどの大雨で、生物が流れた可能性がある。

指標生物以外ではカワエビが見つかった。水質階級はOSであった。

10月の調査では、6種類の指標生物と、2種類の指標生物以外のものが採取できた。優占種は例年と同様カゲロウであった。水質階級はOSであった。

2回の調査ともOSであり、最下流であってもきれいな水質が保たれているといえる。

無量光寺下（八瀬川）

八瀬川は田名に端を發し、陽原段丘を西から東に流れ、麻溝地区の「三段の滝」上流で一級河川相模川と合流する延長約5kmの中小河川である。

流域には閑静な住宅地や、水田や段丘斜面の樹林帯があり、段丘崖からの湧水が流入し、水量も比較的豊富で、相模原市の都市部における住民や生物にとって貴重な水辺空間を創出する河川となっている。

調査地点は、八瀬川の下流に位置し、近年開通した圏央道の相模原愛川ICの近くでもある。河川は川幅2.5mほどの小川であり、川床には頭大の石や小石がある。

5月の調査では優占種はトビケラであり、その他カゲロウ・カワゲラ・サワガニ・ヤゴ・カワニナ・イトミミズの計7種類の指標生物が確認された。また、指標生物以外ではカワエビが確認された。

10月の調査では優占種はカゲロウであり、その他サワガニ・トビケラ・カワニナ・シジミ・イトミミズの計6種類の指標生物が確認された。

水質階級は5月・10月の調査ともOSの判定となった。一部βmの判定があった前年に対し、水質改善の傾向が見られる。

八幡橋（鳩川）

鳩川は内出橋下流端に源を發し、上九沢・上溝地区等を経て下溝地区で姥川・道保川と合流し、また中流の磯部付近で鳩川分水路・鳩川隧道分水路によって上流域の水を相模川へ放流している。

調査地点は、鳩川の中流域の上溝地区に位置し、周辺は住宅街になっている。河川は兩岸コンクリートブロックに覆われているが、川床はこぶし大の石・小石及び砂利が混在している。

5月の調査では優占種はカゲロウであり、その他ヤゴ・トビケラ・アセラス・赤ユスリカ・イトミミズの計6種類の指標生物が確認された。また、指標生物以外ではカワエビが確認された。

10月の調査では指標生物はカゲロウのみが確認された（→優占種）。また、指標生物以外ではカワエビが多数確認された。

水質階級は5月が「ややよごれた所」を意味するαm、10月はOSとβmの両方に判定された。前年の調査ではOSあるいはβmに留まっていたことより、やや水質悪化の傾向が見られる。

天応院下（姥川）

姥川は中央区上溝1丁目を上流端とし、横山丘陵の山際を流れ、下溝地内の天応院付近で鳩川と合流する延長約6.5kmの河川である。

調査地点は、姥川の最下流に位置し鳩川との合流点の近くである。河川は護岸、川床共にコンクリートであるが一部、頭大の石や小石・砂も入り交じっている。

5月の調査では優占種はカゲロウであり、その他ヨコエビ・トビケラ・アセラス・ヒル・イトミミズの計6種類の指標生物が確認された。また指標生物以外ではカワエビが多数確認された。

10月の調査では優占種はカゲロウであり、その他ヨコエビ・ヒル・イトミミズの計4種類の指標生物が確認された。また指標生物以外ではアメンボが多数確認された。

水質階級は5月・10月の調査ともに β mであった。前年の調査では2回共にOSの判定であったことより、水質がやや悪化の傾向が見られる。

泉橋上流（道保川）

道保川は道保川公園と横山丘陵から湧水を集め、連続した斜面林に沿って流れている。泉橋の上流は、周囲に民家が散在しているが、自然を残した河川づくりによって比較的自然が保たれている。

5月の調査では、採取できた生物は6種類と昨年より少ない。優占種はカゲロウであり、他にはカワニナ・ヨコエビ等きれいな水に住むものが多く見られた。指標生物以外ではカワエビやカワトンボが見られた。水質階級はOSであった。

10月の調査では、5種類の指標生物が採取された。これは前年や5月よりも少ない。指標生物以外ではヨシノボリ、カワエビが確認された。水質階級はOSであった。

2回の調査を通して水質階級はOSであり、周囲の自然とともにきれいな水が維持されている。

昭和橋（相模川）

相模川は富士山麓・山中湖を源流とし、山梨県大月市で笹子川と合流し、相模湖・津久井湖を過ぎて南下し相模湾に注ぐ、流路延長109kmの神奈川県内最大の一級河川となっている。

調査地点は、昭和橋下流の広大な本川のやや浅瀬にあり、頭大の石や小石、砂が混在する場所である。

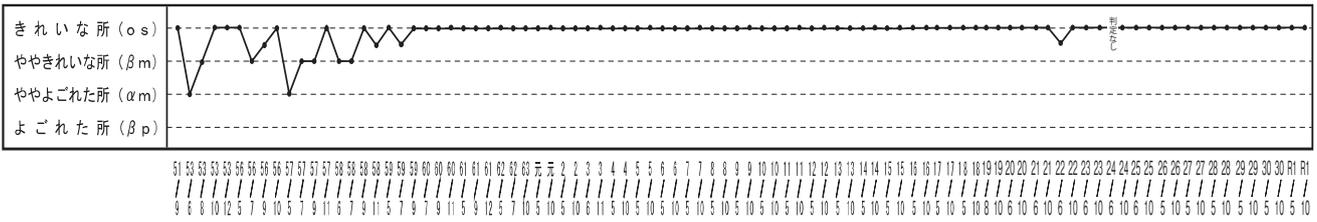
5月の調査では優占種はカゲロウであり、その他トビケラ・赤ユスリカ・ヒルの計4種類の指標生物が確認された。

10月の調査では優占種はカゲロウであり、その他カワゲラ・トビケラ・ヒルの計4種類の指標生物が確認された。

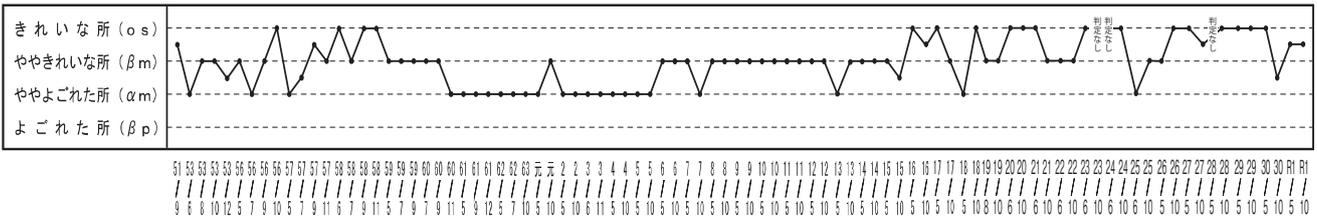
水質階級は5月は β m、10月はOSと β mの両方に判定された。前年の調査を含め、過去3年間はOSを継続していたが、やや水質悪化の傾向が見られる。

河川生物相調査水質判定経年変化

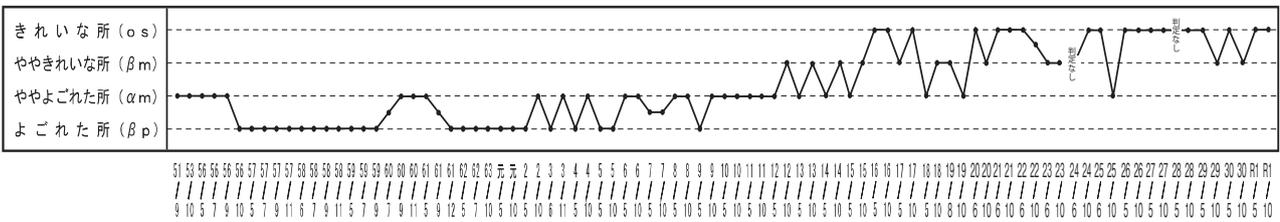
大戸橋 (境川)



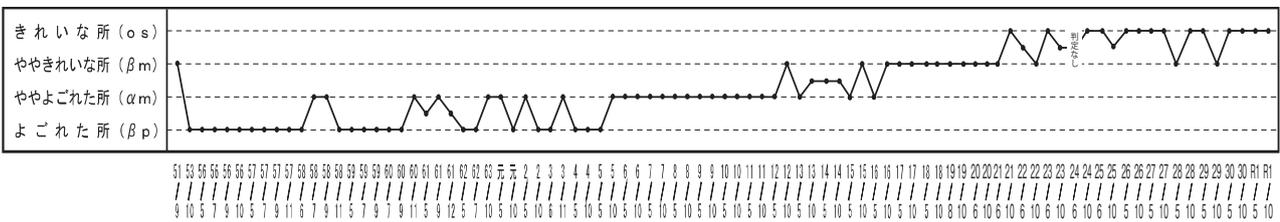
二国橋 (境川)



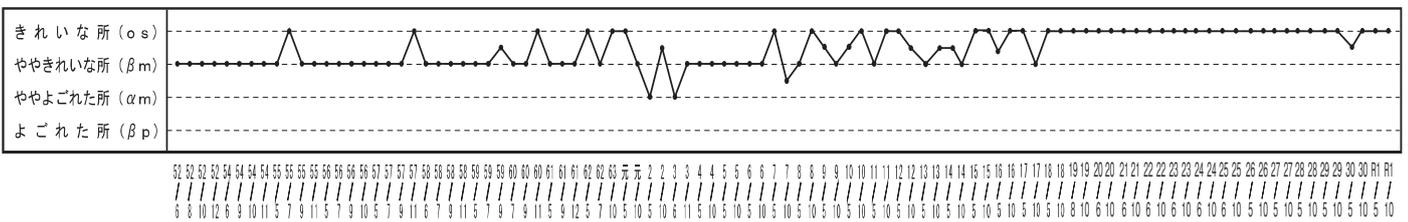
上中村橋 (境川)



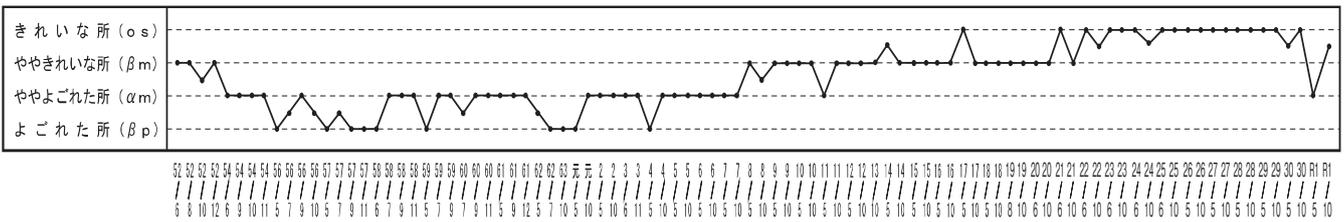
鶴金橋 (境川)



無量光寺下 (八瀬川)



八幡橋 (鳩川)



役員名簿

令和2年6月1日現在

役職	会社名	代表者氏名	所在地
会長	峡の原工業団地協同組合	瀬戸 真司	緑区橋本台 3-4-20
副会長	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	田中 智明	中央区宮下 1-1-57
理事	日本山村硝子(株) 東京工場	安藤 通浩	緑区大山町 3-45
理事	三菱重工業(株) 相模原製作所	齋藤 啓介	中央区田名 3000
理事	(株)ニコン 相模原製作所	黒田 俊晴	南区麻溝台 1-10-1
理事	アイダエンジニアリング(株)	会田 仁一	緑区大山町 2-10
理事	(株)オハラ	齋藤 弘和	中央区小山 1-15-30
理事	サクサ(株) 相模原オフィス	井上 洋一	中央区宮下 3-14-15
理事	東京ガス(株) 神奈川西支店	野口 恭夫	南区相模大野 5-8-18
理事	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	塚本 豊司	中央区千代田 6-12-25
理事	K Y B(株) 相模工場	玉井 実	南区麻溝台 1-12-1
理事	大和製罐(株) 東京工場	萩島 和裕	緑区西橋本 5-5-1
理事	(一財) 生物科学安全研究所	濱岡 隆文	緑区橋本台 3-7-11
理事	プライムデリカ(株)	齋藤 正義	南区麻溝台 1-7-1
理事	昭和電線ケーブルシステム(株) 相模原事業所	増田 正裕	中央区南橋本 4-1-1
理事	スリーエムジャパン(株) 相模原事業所	永野 靖彦	中央区南橋本 3-8-8
理事	東ブレ(株) 相模原事業所	露木 好則	中央区南橋本 3-2-25
理事	(株)トッパンパッケージプロダクツ 相模原工場	渥美 浩司	南区大野台 2-27-1
監事	日産自動車(株) 相模原部品センター	大村 兼司	南区麻溝台 1-4-1
監事	日本板硝子(株) 相模原事業所	本田 充樹	緑区西橋本 5-8-1

会 員 名 簿

工場・事業所

令和2年6月1日現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	アイダエンジニアリング(株)	会 田 仁 一	緑区大山町 2-10
2	(株)アクア	中 村 朋 宏	南区大野台 2-26-10
3	井上醤油(株)	井 上 久 雄	緑区大島 1048
4	(株)イムラ封筒 相模原工場	塚 本 敬 三	中央区宮下 2-5-1
5	岩谷瓦斯(株) 相模原プラント	須 川 祐 志	南区麻溝台 1-10-1 (ニコン内)
6	A G C マテックス(株)	成 田 裕 二	中央区宮下 1-2-27
7	尾崎理化(株) 本社	尾 崎 勲	緑区根小屋 1888
8	(株)オハラ	齋 藤 弘 和	中央区小山 1-15-30
9	オルガノ(株) 開発センター	國 枝 達 也	南区西大沼 4-4-1
10	鹿島道路(株) 相模合材製造所	小野塚 英 則	南区新戸 983
11	(株)金井産業	金 井 雅 人	中央区田名 5977
12	カプスゲル・ジャパン(株)	ロバート・ホワイトロー	中央区南橋本 4-3-36
13	(株)河坂製作所	田 坂 智	中央区田名 3670
14	関東宇部コンクリート工業(株) 相模原工場	田 中 義 克	中央区宮下 2-17-1
15	菊屋浦上商事(株)	浦 上 裕 生	中央区相模原 6-26-7
16	協栄サーキットテクノロジー(株)	小 林 久 人	中央区宮下 1-2-6
17	(株)ケミックス	田 中 勉	南区麻溝台 3481
18	K Y B(株) 相模工場	玉 井 実	南区麻溝台 1-12-1
19	興建産業(株) 神奈川工場	大 土 賢 一	中央区田名塩田 4-19-21
20	権田金属工業(株)	権 田 源太郎	中央区宮下 1-1-16
21	サガミ計測(株)	蒔 田 建	南区下溝 1892-1
22	(株)相模原ゴルフクラブ	鳴 澤 隆	南区大野台 4-30-1
23	サクサ(株) 相模原オフィス	井 上 洋 一	中央区宮下 3-14-15
24	(株)サンコーシヤ 相模テクノセンター	佐々木 博 行	中央区宮下 1-1-12
25	三友プラントサービス(株)	小 松 和 史	緑区橋本台 1-8-21
26	(株)三菱商事 相模原支社	阿 曾 正 長	緑区橋本台 1-14-13
27	J A 全農ミートフーズ(株) 神奈川工場	赤 羽 佑 介	中央区上溝 1856
28	(株)シノテスト	塚 田 聡	南区大野台 2-29-14
29	(株)昭和真空	小 俣 邦 正	中央区田名 3062-10
30	昭和電線ケーブルシステム(株) 相模原事業所	増 田 正 裕	中央区南橋本 4-1-1
31	新相模酸素(株) 相模原工場	中 島 太 司	中央区宮下 2-14-3
32	ステイ電子機器(株)	志 田 正 秀	中央区宮下 3-13-11
33	スリーエムジャパン(株) 相模原事業所	永 野 靖 彦	中央区南橋本 3-8-8
34	スリーボンドファインケミカル(株)	土 田 耕 作	緑区大山町 1-1
35	世紀東急工業(株) 相模原再生工場	小 野 雅 夫	中央区田名 2500-1
36	(株)成玉舎	福 田 伸 一	中央区宮下 2-15-5
37	セントラル総合サービス(株)	井 上 善 勝	緑区西橋本 3-10-30
38	総合銘板工業(株)	田 中 桂之介	中央区宮下 3-11-14
39	第一コンクリート(株) 相模原工場	安 部 哲 也	中央区南橋本 4-2-27
40	大栄フーズ(株)	岡 康 人	南区相武台 2-5-30
41	タイヨー印刷(株)	長 田 功	中央区上溝 4-9-10
42	大和製罐(株) 東京工場	萩 島 和 裕	緑区西橋本 5-5-1
43	大和ハウス工業(株) 厚木支社 相模原営業所	財 津 高 広	中央区中央 3-1-15
44	竹内貴金属工業(株)	竹 内 忠 夫	中央区南橋本 3-9-17

会 員 名 簿

工場・事業所

令和2年6月1日現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
45	田辺プラスチック機械(株) 相模原工場	三 浦 孝	南区北里 2-30-11
46	津久井湖観光(株)	山 口 朗 広	緑区三ヶ木 492
47	東榮電化工業(株)	山 本 茂 樹	中央区小町通 2-5-9
48	東京化学塗料(株)	藤 原 賢 一	中央区淵野辺 1-21-23
49	東京ガス(株) 神奈川西支店	野 口 恭 夫	南区相模大野 5-8-18
50	東京綜合写真(株) 相模原工場	加 藤 光 一	中央区東淵野辺 5-4-2
51	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	塚 本 豊 司	中央区千代田 6-12-25
52	東京特殊印刷工業(株)	寺 岡 健 郎	南区大野台 2-12-6
53	東京メタルパック(株)	春 山 茂 樹	中央区南橋本 3-2-25
54	東京ライト工業(株) 相模原工場	佐々木 昌	緑区根小屋 1787-1
55	東プレ(株) 相模原事業所	露 木 好 則	中央区南橋本 3-2-25
56	(株)戸田ゴルフクラブ	門 坂 治 雄	緑区長竹 1838
57	(株)トッパンインフォメディア 相模原工場	高 田 信 二	南区大野台 2-29-20
58	(株)トッパンパッケージプロダクツ 相模原工場	渥 美 浩 司	南区大野台 2-27-1
59	中田屋(株) 相模原工場	竹 崎 賢	緑区西橋本 3-10-14
60	(株)ニコン 相模原製作所	黒 田 俊 晴	南区麻溝台 1-10-1
61	(有)西浦塗装工業所	瀬 戸 裕 昭	中央区淵野辺 2-18-15
62	日産自動車(株) 相模原部品センター	大 村 兼 司	南区麻溝台 1-4-1
63	日鉄ドラム(株) 相模原工場	紅 谷 徹	緑区西橋本 5-7-1
64	日本板硝子(株) 相模原事業所	本 田 充 樹	緑区西橋本 5-8-1
65	日本化工機材(株)	大 澤 浩一郎	中央区淵野辺 1-20-8
66	日本ゼトック(株) 相模原事業所	松 田 英 隆	緑区大山町 1-5
67	日本電子工業(株) 相模原工場	池 永 薫	中央区宮下 3-10-14
68	日本トーカンパッケージ(株) 相模原工場	松 田 健 一	南区麻溝台 1-4-50
69	日本山村硝子(株) 東京工場	安 藤 通 浩	緑区大山町 3-45
70	(有)早川銘板製作所	早 川 正 彦	中央区田名 3039-17
71	日立建機日本(株) 相模営業所	新 津 洋	中央区淵野辺 2-5-8
72	福田道路(株) 相模原合材工場	坂 井 浩 一	中央区田名 3385-1
73	富士工業(株)	柏 村 浩 介	中央区淵野辺 2-1-9
74	プライムデリカ(株)	齊 藤 正 義	南区麻溝台 1-7-1
75	ペンニッター(株)	下 村 武 司	中央区南橋本 4-5-13
76	(株)宝月堂文具店	佐 藤 幸 一	中央区淵野辺 3-19-9
77	マルマテクニカ(株) 相模原事業所	森 木 英 光	南区大野台 6-2-1
78	美鈴紙業(株) 東京事業所	長谷川 和 也	緑区橋本台 3-1-12
79	三菱重工業(株) 相模原製作所	齊 藤 啓 介	中央区田名 3000
80	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	田 中 智 明	中央区宮下 1-1-57
81	ミヤジフーズ(株)	宮 地 俊 二	南区古淵 5-6-16
82	(株)ヤマダコーポレーション	山 田 幸 太 郎	中央区宮下 1-2-38
83	(株)ヤマダメタルテック	石 井 正 信	緑区西橋本 3-12-9
84	(株)ヤマテコーポレーション	麻 生 敬 三	中央区田名 3879
85	(株)ユニックス	平 田 久 博	南区麻溝台 6-17-6
86	ユニリーバ・ジャパン(株) 相模原工場	村 井 英 匡	南区大野台 2-14-1
87	(株)ライト	佐々木 亮 一	中央区中央 5-9-10
88	(株)リガルジョイント	稲 場 純	南区大野台 1-9-49

会 員 名 簿

公共事業所等

令和2年6月1日現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	(学) 青山学院大学	原 啓	中央区淵野辺 5-10-1
2	(学) 麻布獣医学園	山 口 雄 弘	中央区淵野辺 1-17-71
3	(学) 和泉短期大学	深 町 正 信	中央区青葉 2-2-1
4	神奈川県水産技術センター内水面試験場	石 黒 雄 一	緑区大島 3657
5	(一財) 北里環境科学センター	山 田 陽 城	南区北里 1-15-1
6	(学) 北里研究所	小 林 弘 祐	南区北里 1-15-1
7	相模原機械金属工業団地協同組合	前 田 順 也	緑区橋本台 2-7-28
8	相模原市農業協同組合 本店	小 泉 幸 隆	中央区千代田 1-2-17
9	(学) 女子美術大学	福 下 雄 二	南区麻溝台 1900
10	(一財) 生物科学安全研究所	濱 岡 隆 文	緑区橋本台 3-7-11
11	峡の原工業団地協同組合	瀬 戸 真 司	緑区橋本台 3-4-20

賛助会員

令和2年6月1日現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会 相模原支部	古 屋 伸 夫	南区東林間 1-25-10-210
2	相模原市環境政策課	鈴 木 克 己	中央区中央 2-11-15
3	相模原市自治会連合会	坂 本 堯 則	中央区富士見 6-6-23
4	相模原市地域婦人団体連絡協議会	石 川 壽々子	中央区陽光台 2-12-10
5	さがみはら地球温暖化対策協議会	坂 本 堯 則	中央区富士見 1-3-41

相模原の環境をよくする会会則

(名 称)

第1条 本会は、相模原の環境をよくする会と称し、事務局を相模原市役所内に置く。

(目 的)

第2条 本会は、公害を未然に防止し、豊かな自然を守り、うるおいのある生活環境づくりに努め、もって快適な環境の創造に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 公害防止技術の調査研究
- (2) 環境保全に係る調査研究
- (3) 研修会、講演会、視察等の実施
- (4) 環境の保全に係る啓発活動
- (5) 関係行政機関との連携及び協力
- (6) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(会 員)

第4条 本会は、相模原市内にある工場、事業場等で、本会の目的に賛同し、かつ役員会の承認を得たものをもって組織する。

2 会員は、別表の定めるところにより、会費を負担するものとする。

(賛助会員)

第5条 市内にある環境保全団体並びに市民団体等で、本会の目的に賛同し、かつ役員会の承認を得たものを賛助会員とすることができる。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 1 名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2 名

(役員を選出)

第7条 本会の会長、副会長、理事及び監事は、総会で会員の中から選出する。

2 役員の前任期満了前における欠員補充は、会員が役員会の同意を得て、会員の中から選任する。

(役員の仕事)

第8条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長不在のときは、これを代行する。

3 理事は、会務を執行する。

4 監事は、会計を監査する。

(役員の前任期)

第9条 役員の前任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補充により就任した役員の前任期は、前任者の前任期とする。

3 役員は、前任期が満了したときにおいても、後任者が就任するまで引き続きその職を行うものとする。

(事務局職員)

第10条 本会の事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長 1 名
- (2) 次 長 1 名
- (3) 書 記 若干名

2 事務局職員は、会長が委嘱する。

3 事務局長は、会の庶務を統括する。

4 次長は、事務局長を補佐し、事務局長不在のときは、その職務を代行する。

5 書記は、会の庶務を処理する。

(名誉会長及び顧問)

第11条 本会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(会 議)

第12条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

(総 会)

第13条 総会は、会員及び賛助会員をもって構成する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長がこれを招集する。

3 通常総会は毎年1回、臨時総会は会長が必要と認めるとき、又は会員及び賛助会員の3分の1以上から請求があったとき、これを開くものとする。

4 総会の議長は、そのつど選出する。

5 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 役員を選出にすること
- (2) 事業計画及び事業報告にすること
- (3) 予算及び決算にすること
- (4) 会則の改廃にすること
- (5) その他会長が必要と認める事項

(役員会)

第14条 役員会は、会長、副会長、理事及び監事をもって構成し、会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長をもってこれにあてる。

3 役員会は、この会則の別の条項に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会で議決した事項の執行にすること
- (2) 総会に提案すべき事項にすること
- (3) 予算の補正にすること
- (4) 総会で委任された事項にすること
- (5) その他役員会において必要と認める事項

(会議の議決)

第15条 総会及び役員会は、構成員の2分の1以上の出席（委任状を含む）がなければ議事を開き、議決することができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(経費)

第16条 本会の経費は、次の収入をもってこれにあてる。

- (1) 会費
- (2) 負担金
- (3) 補助金
- (4) その他の収入

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(委任)

第18条 この会則の施行について必要な事項は、会長が役員会の議決を経て別に定める。

附則

この会則は、昭和60年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成4年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成19年4月20日から施行する。

別 表

会費算定基準（第4条関係）

1 工場、事業場にあつては、次の表に定める資本金額及び従業員数により算出した合計点数に2,500円を乗じた額とする。

点 数 区 分	1	2	3	4	5	6	7	8
資 本 金 額	5千万 円未満	5千万 円以上 1億円 未満	1億円 以上 3億円 未満	3億円 以上 5億円 未満	5億円 以上 10億円 未満	10億円 以上 50億円 未満	50億円 以上 100億円 未満	100億 円以上
従 業 員 数 (人)	10 未満	10 以上 50 未満	50 以上 100 未満	100 以上 500 未満	500 以上 1,000 未満	1,000 以上 1,500 未満	1,500 以上 2,000 未満	2,000 以上

2 公共事業所（相模原市役所を除く）その他これに類する事業場
一律10,000円を会費とする。

3 相模原市役所は200,000円を会費とする。

相模原の環境をよくする会細則

(入 会)

第1条 本会に入会しようとするものは、所定の入会申込書により申し込むものとする。

(退 会)

第2条 会員が退会しようとするときは、理由を付して届け出るものとする。

(変 更)

第3条 入会申込書に記載した事項のうち会長が必要と認める事項に変更があったときは、会員は、速やかに所定の変更届により届け出るものとする。

(会 費)

第4条 会費は年額とし、毎年5月1日から6月30日までに納入しなければならない。ただし、年度途中においての加入会員は、加入時期に応じ、月割りにより算出し、入会と同時に納入するものとする。

2 前項ただし書の規定により算出した額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

3 既納の会費は、これを返還しない。

(負担金)

第5条 規定会費の他に特定の事業を行う場合、会長は、役員会の同意を得て、会員に対し負担金を請求することができる。

(名誉会長及び顧問)

第6条 名誉会長及び顧問は、会長が、役員会の同意を得て、委嘱するものとする。

2 名誉会長及び顧問の任期は、委嘱された日から、その日の属する年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。

(会 計)

第7条 本会の会計のうち、予算執行上の処理については、次のとおりとする。

(1) 予算の執行は、事務局長が行う。

(2) 補正は次のとおりとし、役員会の決定を得て行うものとする。

ア 項及び目の設定又は廃止

イ 予算総額の10パーセント以上の支出を伴う予算額の変更

ウ 項間の予算額の移動で、当初計上した予算額の20パーセント以上を他の項に移動する場合

(3) 流用は次のとおりとし、事務局長の裁量で行うものとする。

ア 項間の予算額の移動で、補正に該当しない場合

イ 目間の予算額の移動

(4) 充当は、予備費を他の項及び目に使用する場合であり、事務局長の裁量で行うものとする。

(報 酬)

第8条 本会の役員及び事務局職員は、無報酬とする。

(文書管理)

第9条 本会の文書の保存期間は、別表のとおりとする。

2 保存期間が過ぎた文書は、速やかに廃棄するものとする。ただし、特に必要と認められる文書については、会長が役員会の同意を得て、保存期間を過ぎた後も保管することができる。

3 前項の規定により文書を廃棄するときは、役員会の決定を得なければならない。

4 個人情報が含まれる文書を廃棄するときは、廃棄後に情報が読み取れないように配慮しなければならない。

附 則

この細則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成19年4月20日から施行する。

附 則

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成29年11月7日から施行する。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

別表（第9条関係）

文書の区分	保存期間
会則、細則及び規定 入会申込書 退会届 変更届 会員名簿 総会議事録（議案書を含む。） 役員会議事録 委託契約書類 会報（創刊号から）	常用
収入伺 支出命令書 銀行預金通帳	10年
総会及び役員会関係書類（他の区分に属するものを除く。） 事業関係書類（他の区分に属するものを除く。）	5年
その他軽易な文書	1年

備考 保存期間は、文書を作成し、又は取得した事業年度（契約期間のある契約書等一定期間効力を有する文書については、その期間の満了した事業年度）の次の事業年度の初日から計算するものとする。

表彰に関する規定

(趣 旨)

- 1 相模原の環境をよくする会（以下「本会」という。）の事業を通じて環境の保全・浄化に功労のあったものを表彰することに関して必要な事項を定める。

(表彰状及び感謝状の贈呈)

- 2 功労者には、次により表彰状又は感謝状を贈呈する。
 - (1) 環境の保全・浄化に功労のあった個人及び団体
 - (2) 本会の役員として10年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった役員会社
 - (3) 本会の役員として5年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった個人

(被表彰者の決定)

- 3 会長は、表彰状及び感謝状を贈呈しようとするときは、あらかじめ役員会の同意を得なければならない。

附 則

- 1 この規定は、昭和60年4月1日から適用する。
- 2 相模原の河川をきれいにする会及び相模原の青空を守る会の役員在職年数は、本会の役員在職年数とみなす。

附 則

この規定は、平成7年4月1日から適用する。

入会申込書

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地

名 称

代表者職氏名

印

貴会の目的及び会則に賛同して、下記により入会を申し込みます。

工場又は事業所名	
所 在 地	
資 本 金	
従 業 員 数	
担 当 者 氏 名	
担 当 者 所 属	
電 話 番 号	
Eメールアドレス	

※従業員数は、相模原市における工場又は事業所の人数をご記入ください。

退会届

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地

名 称

代表者職氏名

印

電話番号

下記の理由により、相模原の環境をよくする会を退会します。

(理由)

変 更 届

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地 _____

名 称 _____

代表者職氏名 _____ 印

電話番号 () _____

下記のとおり届け出ます。

【事業所関係】

	新	旧
名 称		
所 在 地		
電話番号		
E-mail		

【役員関係】

		所 属	役 職	氏 名	備 考
代表者	旧				
	新				
担当者	旧				
	新				

変更日 _____ 年 月 日 _____

(変更理由)

澄んだ水 あふれる緑 青い空 みんなで築こう相模原

(スローガン)

令和 2 年 6 月

相模原の環境をよくする会

事務局(相模原市 環境経済局 環境共生部 環境政策課)

TEL 042(769)8240(直通)

FAX 042(754)1064

印刷 タイヨー印刷(株) TEL 042(762)2157



澄んだ水あふれる緑青い空
みんなで築こう相模原